

全部協組合員限定!!

新刊案内

2019年～2020年版

自動車部品・用品流通

共販・部販会社要覧付

物流危機で「補修部品を運べない時代」が到来!?
メーカー間の垣根を越えた共同配送の気運が上昇

トピックス

★純正部品に課された「供給責任」は風前の灯!?
「物流危機」対策に自動車メーカー各社が本腰

★後継者難による部品商の相次ぐ廃業が引き金!?
トヨタが「物流ネットワークの再構築」に着手

★4万軒を超える業販店の供給ネットワーク構築
スズキが一部地域で「販売店直送化」を開始!!

★自動車メーカー系列の部品販売会社要覧を収録
共販・部販の過去3年間の売上推移などを掲載

★都道府県別の「最新自動車基礎データ」を収録
保有台数や車検台数、認証工場数などがわかる



~~定価3,000円(税込3,300円)~~

~~※送料別途実費~~



全部協組合員限定!!

特別定価2,500円(税込2,750円)

※送料無料(自動車新聞社負担)

自動車メーカーには補修部品の供給責任があります。事実、経済産業省が2012年1月に策定(2014年12月改訂)した自動車補修部品産業未来ビジョンには、「自動車メーカーは、販売した自動車が使用済自動車となるまで、アフターサービスとして補修部品を供給する責任を負っている」と明示されています。

今、この補修部品の供給責任は、トラックドライバー不足をはじめとする物流危機に直面しており、自動車メーカーや系列の部品販売会社は対応が迫られています。

本書は、自動車メーカーや共販・部販の供給改善策をレポートするとともに、共販・部販の最新企業要覧、最新の自動車基礎データを収録しています。

※本の詳細と申込書は裏面にございます。

●目次

自動車部品・用品流通のトピックス

物流危機で「部品が運べない時代」の到来か!?

- トヨタ部品大阪共販—— 新築移転を機に和歌山営業所を自動倉庫化!! 改善により従来の倉庫を上回る生産性を実現
- トヨタ部品京都共販—— ダイア改正を通じて入出庫作業の平準化を推進。一部ルートでヤマト運輸との共同物流を開始
- ホンダパーツ西南—— 工程管理システムで庫内作業の効率化を推進。社員の負担軽減へパートスタッフの多能工化
- ギークプラス—— 物流ロボットが棚を持って倉庫内を移動! だから入出庫作業の生産性が劇的に向上!!

部品物流改善

乗用車メーカー各社の取り組み

- トヨタ自動車—— 将来の安定的な供給を実現するために「物流ネットワークの再構築」に着手
- 日産自動車—— バックオーダー対策への取り組みを強化。日産品質の「モデル倉庫」の構築に着手
- 三菱自動車—— 工業全体在庫量は維持しながらサービス性向上。「関東デポ」を開設しリードタイムを短縮
- スズキ部品—— 本部を新設し部品政策を一元管理。一部地域で「販売店直送化」を開始!!
- ダイハツ工業—— 現場作業者が安心して働ける環境整備へ。屋内作業のフォークリフトレス化を完遂
- SUBARU—— スバルアクセサリセンターを開設!! 併設の関東納整センターへ台当たりセットでJIT供給

大型車メーカー各社の取り組み

- 日野自動車—— 日野グローバルパーツセンターが稼働開始。国内外の「補給部品供給体制」を強化!
- いすゞ自動車—— バックオーダー削減で高即納率を達成。即納体制の強化で店頭即納率も高水準に
- 三菱ふそうトラック・バス—— 中央倉庫・地域デポ・販売拠点を含め国内補修部品供給の全体戦略を再構築
- UDトラックス—— 独自の店頭在庫管理システムが一層進化。地区部品センターを活用し供給安定性を向上

自動車基礎データ (各都道府県別に集計)

総人口/保有台数/保有構造/車検台数/新車販売台数/認証工場数/指定工場数/給油所数

全国自動車部品・用品販売会社<共販・部販>要覧

トヨタ共販 (33 社)、日産部販 (25 社)、ホンダ部販 (7 社)、マツダ部販 (4 社)、三菱部販 (2 社)



申込方法

下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAX でご注文下さい。
弊社 HP からもお申込みいただけます。http://www.jidoshashinbun.co.jp
料金のお支払いは、御注文書籍に同封する振込用紙にて、ご対応願います。

お申し込みは **FAX 03-6417-0910** へ

■ 2019 ~ 2020 年版 自動車部品・用品流通 全部協組合員限定申込書

	購入部数	部
貴社名・部署名		
購読者名		
送付先		

問い合わせ先 ☎ 03-6417-0911